

平成27年度 第2回井口地域審議会会議録

- 1 開催日時 平成27年10月14日(水)午後1時25分から3時15分まで
- 2 開催場所 南砺市井口行政センター(2階)特別会議室
- 3 出席委員 7名 林 則雄、中山秀一、小林加津實、池田淑則、中山清貴、柳田由紀、吉田しのぶ
- 3 欠席委員 5名 北村英男、吉田治夫、塚崎 貢、林真寿美、高野芳美
- 4 市側出席者 長澤市長政策室長、上口行革・施設再編課長、前川地域包括課長
山崎井口行政センター長、石崎施設再編係長、山田井口行政センター次長
- 5 傍聴者 なし
- 6 協議議題 公共施設再編計画策定について
その他 (仮称)地域包括医療ケアセンター新築工事の概要について
- 7 資料 資料1 公共施設再編計画(検討案)地域審議会説明会
資料2 公共施設再編計画(検討案)
資料3 南砺市公共施設等総合管理計画(ダイジェスト版)
資料4 公共施設サービスに関する市民アンケート調査結果の概要
(仮称)地域包括医療ケアセンター新築工事の概要

8 会議経過

○開会

山崎センター長から開会の宣言と北村委員、吉田委員、塚崎委員、林委員、高野委員の欠席報告を行う。

○会長挨拶

林会長より開会の挨拶。

○協議議題

林会長が議長となり順次議事を進める。

公共施設再編計画策定について

(長澤室長から資料1、資料3、参考資料により説明)

(上口課長から資料2、資料4により説明)

(議長) 質問やご意見はあるか。

(委員) スキー場などは民間が管理しているが、その条件はどのようなものか。

(上口課長) 指定管理者として市が指定管理料を支払って管理されている。

(委員) その管理状況は、市の当初見込んでいた状況と比べどうか。

(上口課長) 市が直営でするより人件費等が安くなっている。民間の知恵や手法も加え少しずつ管理状況は良くなっている。

(委員) 市で管理していたときより利用者に喜ばれているか。

(上口課長) そのように目指している。指定管理料が高額であることは問題でもある。

(委員) そのような管理体制は、市が期待していたことと違ってくることはないのか。

(上口課長) 本来、市が持つべき施設かということも考えなければいけない。民間で施設を建てていただければいいが、実際にそこまでいかない。

(委員) 参考資料に南砺市公共施設等総合管理計画議決事項の基本方針として8項目記載してある。私は、少子化や高齢化が進んでいく中、市の活性化に向けた基本方針も

あり、そういうファクターを入れないと、中・長期の対応時期にチェックを入れた計画だけで公共施設が半分になりますというのは少し乱暴なような気がする。再編計画の原案を作成される時には、保育所や学校、デイサービスなどの福祉施設などそれぞれの市の基本方針に沿ってそのようなファクターを入れて検討して欲しい。井口地域は、野球場や図書館はないが、保育所、小・中学校、デイサービス、椿館、行政センターなどが頼りという気がしている。地域が元気になるため、8つの地域というのではなく、これからの市のあり方全体を考えて欲しい。

(長澤室長) これは、公共施設管理計画上の基本方針である。市がどういう方向に進むということは、市の総合計画や総合戦略に掲載している。総合戦略には市の施設の有効利用に関することも入っている。ただ、施設再編計画だけ見ると片手落ちではないかと思われるかもしれないが、これはあくまで、公共施設を今後どのようにしていくかという計画である。再編する場合、その地域にとってどんな施設が必要か、人口が少ないとか利用者が少ないから必要でないということではなく、今からそれを判断していくということである。施設を無くすことは簡単だが、そのことによる人口減少も考えられる。計画が成り立つようにチェックを付けざるを得なかったのがこういう形で作ってある。実際はその通りにいかないが、それが地域のために必要ということであつたら、基本方針の最後にも書いてあるように、目に見える形で基金として残すといったイメージもある。

(委員) これからの人口動向や高齢化を考えたなら施設再編は必要だと納得は出来る。新しいものを作るときは、単純にどこかで減らすか、止める英断も必要である。

(長澤室長) 時代に即した公共サービスというのは必ずある。今までは新しい施設ばかり作り、古いものを利用することはほとんどなかった。これからは再利用を第一に考えることが大切である。

(委員) 8つの町村が合併し、各地区に自治振興会ができ、同じような組織を作っても、人口の少ないところでは同じ人が役員に出なければいけない。その地域の特徴を活かした運営は横並びでは難しいところもある。地域が1つのコミュニティとしてまとまる様な再編をお願いしたい。

(長澤室長) 例えば、ゆ〜ゆうランドにはチェックがないが椿館にはチェックがあるのは市はどのように考えているのか、原種椿の管理は市がすべき、といった具体的なお意見をお願いしたい。特に個別の施設ごとのご意見をお聞きし進めていきたい。

(議長) 日本で最大級の原種椿園なので、桐野先生から譲り受けたという経緯も踏まえ、市が手を離すのであれば誰が管理するのか、県の植物園に持っていくとか、そういうことも含めて考えなければいけない。寄付者や施設が作られた経緯もある。経緯を踏まえれば残して欲しい気持ちは大きい。保育園について言えば、井口は地域の特徴を活かした保育をしているし、仕事の関係で井口に預けたほうが良いという方もいる。民営化することで地域性を持った特長のある保育が出来るのか、一律平準化した保育になるのではないかという不安がある。現在そこに携わっている人や保護者の意見なども大切だと思うので、その意見も聞いていただきたい。

(委員) 地域で保育園の民間委託についてアンケートをした。結果は、反対との意見が多かった。それは、今の保育や体制に満足しているからだと思うし、民間委託することでそのサービスが変わると心配しているのではないかと思う。今後、民営化や委託

ということになっていく時に、現在のサービスや残して欲しいというものをしっかり提示した上で、受けられる民間があれば考えられるとも思う。

(委員) 3点申し上げたい。まず、先ほどのご意見でもコミュニティーという言葉もあったが、私は井口には保育園、小学校、中学校というものは残して欲しいと強く思っている。小・中学校や保育園の先生方などと話しをすると、みなさん口を揃えて、学力、体力、情緒的なものも含め井口の教育環境は素晴らしいと言われる。井口の地域性を考えれば教育施設は是非残していただきたい。保育園について先生方に聞くと、本年度は42名が入園しているが、施設の設備に足りないところを要望してもなかなか予算を付けてもらえないと言われるが、実際のところ公共施設の再編計画があるのでお金を掛けられないという考えがあるのか。30年後も大切だが、今いる子どもの保育も大切である。30年後があるから今お金を掛けられないではなく、今も子どもたちがいる訳で、十分整った環境にして欲しい。2つ目に、小・中学校についてだが、出前市長室や審議会で学校を残していただきたいと申し上げているが、そのために小規模校や小・中一貫教育などどのような方策があるか地元でも話をしている。そのことに関し、市としてどのように動いているかが見えてこない。何も方策がないまま、ただ在籍人数が少なくなり統廃合しかないということではなく、今の時期に在籍人数を増やすための施策を推し進めていただきたいと思っている。また、図書館についてだが、井口には図書館はない。小学校には立派な図書室があり、結構整っているのだから、そのような今あるものを如何に積極的に活用していくかという姿勢も必要だと思っている。3つ目に、椿団地のことについて申し上げたい。改めて新しいものは作れないと言われるが、空き家対策も含めて考え、若い人が井口に来て暮らしたいという方策はないか。実際暮らしたいという人がいるが、住宅がないとか、空き家は大きすぎるとかという現実もある。市営住宅の活用の方の見直しをして欲しい。

(長澤室長) 保育園の統廃合は、福光地域が最後で井口の保育園をどうするという話はない。再編計画があるから設備の整備をしないということはない。この再編計画はある意味井口の皆さんにチャンスではないかと思う。市長は、現在の小・中学校や保育園は残すという方針なので地元でも対策を考えていただいている。小・中一貫教育になるとそれぞれに建物は要らなくなる。そうするとどれかを解体し、残ったものを改修・増築するなど、先ほど説明もしたとおり、減少させた面積より少なければ増築も可能である。やり方の一つとして、小学校も中学校も同じ環境でいかに地域に密着した教育をしていくか、南砺市として初めての小・中一貫教育のモデル校として頑張ることも出来る。ご意見のような図書館についても、増築するとき、学校の図書室に少しだけ大人の図書も入れるスペースを増やしたり、他から図書が巡回する仕組みなども展開するという事も考えられる。若い人に来てもらう場合、一番大事なところは教育である。教育環境が良く、子ども達がすくすくと育っているところに親たちは来たいし、県外からでも井口小学校に入れたいという可能性は高い。この機会に小・中学校のリニューアルする設計をして一貫教育をするなど、南砺市の中で一番教育環境が充実したところということを目指すということになれば、放っておいても人は集まると思う。そうなれば、需要が出てきて椿団地を残すかリニューアルするか、あるいは増やすという可能性もあるかもしれない。また、

あまり大きくない空き家を紹介するというのも出来ると思うので一番の起点はそこではないかと思う。市も一生懸命総合戦略で移住定住を進めていて、特典も付くような仕組みも作り空き家も紹介している。暮らしません課に地元からの空き家情報も提供いただき進めているが、難点は、言われるとおりが大きすぎるということ。とにかく、そこを核にどのようなビジョンを書くかということは非常に大切であると同時にある意味チャンスでないかと思う。

(議長) 消防施設の一覧に各屯所が記載されており、分団の屯所ということで維持しなければいけないと提案されているが、そこに井口の屯所が掲載されていない。井口は福野消防署の分遣所であり、広域圏の管理なのか市の施設なのか、はっきりしていない状態である。雨漏りもするし、改修も出来ないといった状態である。この機会に集約し移転できないものか。そうすれば駐車スペースというものも確保できるだろうし、水防倉庫も含めて集約できるのではないかと思う。何らかの形で市の公共施設として名前が載るような手立てをしていただければ、方面団としても良い展開になると思う。

(長澤室長) アンケートの結果や市長の方針でも行政センター機能は残すと言っているが、現在の大きな施設を残すことではなく、コンビニ程度の大きさで十分である。もし、市役所の組織がまとまれば、残った役所跡地をどうするかという問題がある。施設を壊すのは簡単だが、市としては施設の有効活用したいし、市の管理する面積からも外したい。一部残せば消防の車庫として使えるかもしれないが、庁舎とふれあい会館をどうするかという問題もある。

(議長) 庁舎の管理計画の中で協議していると思し、今後方向性も出てくると思うが、そうなったときに民間の有効活用が出来るのか、また、分断することでリスクが大きくなって困る。有効活用については今後考えていかなければいけない。

(長澤室長) 市として、来年の3月議会に一定の方向性を示す。今の計画上、15年間は分庁舎方式でやることになっており、平成31年頃までにはこの庁舎本体をどう活用するのか考えなければいけない。

(議長) 地域包括医療ケアセンターが出来れば井口庁舎から地域包括課も移転し、庁舎内も空くことになるし、現在、ふれあい会館は公民館機能を果たしていない。公民館機能は、やはり1階でないといけないし、福祉センターにも階段しかない。高齢化が進む中、それではコミュニティ施設とならない。福祉センターは社協の管理でもあるので踏み込んだ話はできないが、やはりそういった部分は集約したときに改装することも考えなければいけない。地区社協とも話をして悩んでいるところもある。新たなものを作って欲しいということではなく、有効活用ができないかと思っている。

(長澤室長) 利賀の行政センターでは、小さな拠点ということで、公共施設も民間施設も集約して、そこに行けば住民の用事が大体済ませることが出来る仕組みにすればどうかといわれている。JAや理容店に声を掛けるなどの話もある。そうすると施設は残すことになる。平行政センターは、元々複合施設として体育館や文化施設が入っているのもそのまま残ると思うが、上平や井口庁舎をどうしていくかという問題は残る。井口は周辺地域に近いので、更地にして住宅でも建てればどうかという話にもなるかもしれないが、公民館的要素を残し充実していくという方法もあるだろうし、

民間の店も入るなどの集約ができないか、地域全体の中で話をしていただけないか。

(議長) 他にご意見は無いか。16日には住民説明会、22日には出前市長室も予定されているので、そのときにも発言いただく機会はある。

(委員) 図書館などの施設を集約したとき、それをフォローするため、住民の足であるコミュニティバスの充実などが必要である。これだけのものを統合、縮小するとき、地域の経緯もあるだろうが、南砺市は一つという思いの中で活性化を考えないと進まない。市が一つだという意識の醸成が大切で、時間はかかると思うが、まずそれを進めていかなければいけない。

(長澤室長) アンケートの自由書きの欄にはそのような意見が多かった。公共施設を統合するのならバスの充実を図るべきとあったが、そのように考えていきたい。南砺市は一つなので、文化ホールが1つで、プールが1つになれば一番すっきりするが、現実問題とすればなかなかそのようにならないと思っている。昭和の大合併のときには、やっと1つの町として考えられるまでに30年かかったと聞いている。そうかといって何もしなければ1つの市になれない訳なので、様々な形で気持ちを通じるような仕組みを作らなければいけないと思っている。

(議長) 1月には素案が出来て再度皆さんに説明をし、3月議会で審議が行われる予定になっている。

(長澤室長) 素案では、短期、中期、長期までの方向性を出して、中でも短期は、単純に「譲渡」ではなく無償譲渡なのかどんな譲渡なのか、先送りする場合はどんな理由なのか、どういう条件を付して送るのかなどより細かい表現にしたい。

(議長) 以上で「公共施設再編計画策定について」の議題の審議は終了する。

○その他

(仮称)地域包括医療ケアセンター新築工事の概要について

(山崎センター長) 次に、その他の「(仮称)地域包括医療ケアセンター新築工事の概要について」を前川地域包括課長より説明をお願いします。

(前川課長から資料により説明)

(会長) 何か質問はあるか。

(委員) 1階にある「発達障害児相談・心理視聴覚室」の概要を教えて欲しい。

(前川課長) 発達障害児相談は、こども課の所管であるが、月に1回、発達障害児の相談を受ける部屋である。心理視聴覚室は保健センターの機能である。元々発達障害児相談と心理視聴覚室は別々の部屋を考えていたが、使用頻度を考え一緒の部屋にした。今のところ毎日相談を受けることは考えていない。

(山崎センター長) 以上で本日の会議は終了する。

○閉会挨拶

中山副会長より閉会の挨拶。